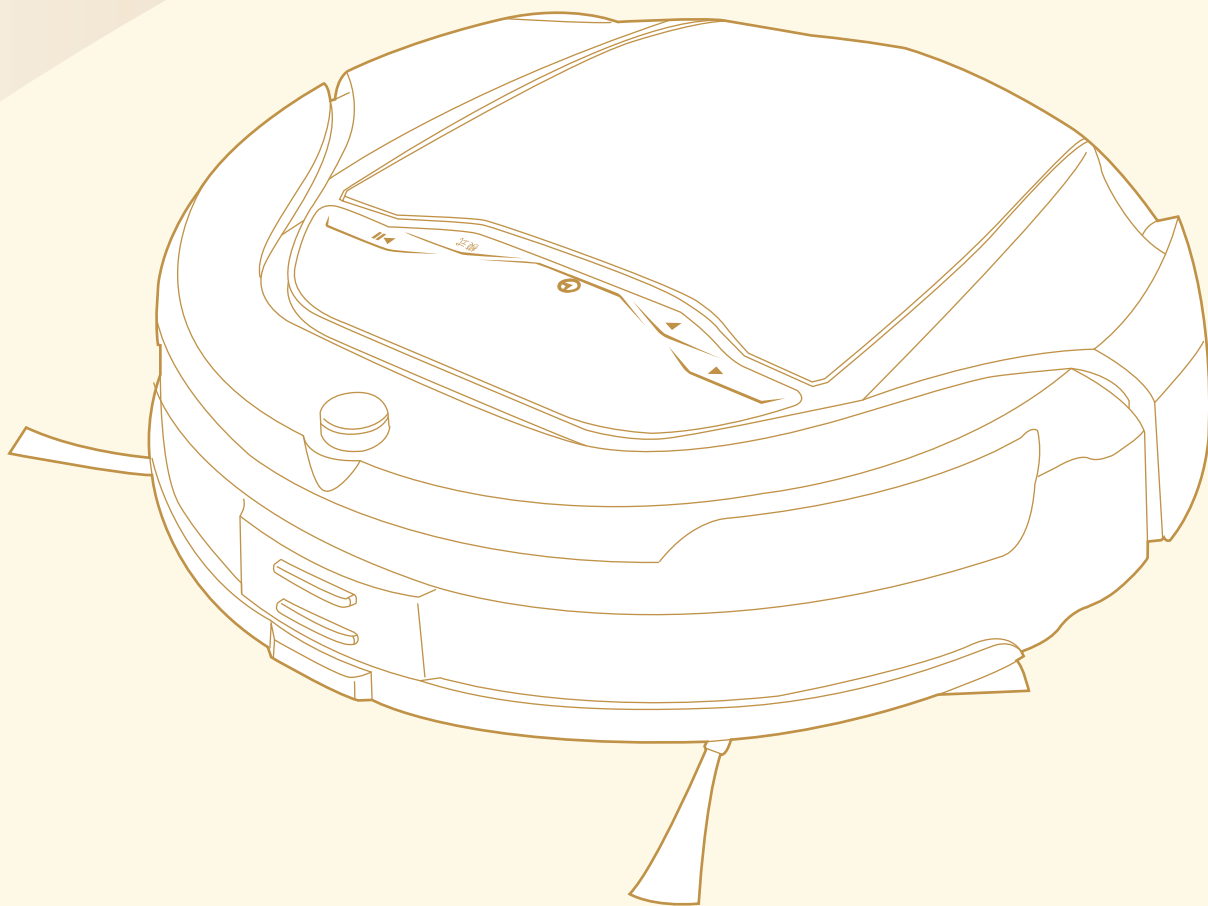


DEEBOT D79

3D クリーニングロボット

取扱説明書



もくじ

1. 安全上のご注意.....	1 ～ 2
2. ご使用の際のお願い	3
3. セット内容及び製品仕様・各部名称.....	4 ～ 6
3.1 セット内容.....	4
3.2 製品仕様.....	4
3.3 各部名称.....	5 ～ 6
4. 使用前の準備.....	7 ～ 8
4.1 オートステーションの準備	7
4.2 ロボット掃除機の充電.....	7
4.3 ロボット掃除機本体パーツの取り付け	8
4.4 ロボット掃除機本体の時間合わせとタイマー設定	8
5. ロボット掃除機の使い方.....	9 ～ 13
5.1 ロボット掃除機の使い方	9
5.2 リモコン操作での使い方	10 ～ 11
5.3 各種モードについて.....	12
5.4 警告アラーム機能	13
5.5 自動ごみ回収	13
6. スーパーソニックの使い方.....	14
6.1 ハンディ掃除機としての使い方.....	14
6.2 各ユニットの名称と用途	14
7. メンテナンス.....	15
7.1 多機能メンテナンスツールの名称と特徴.....	15
7.2 メインブラシ、サイドブラシ、メインホイールのメンテナンス.....	15 ～ 16
7.3 ダストボックスとフィルターのメンテナンス	16
7.4 本体センサーの掃除.....	16
7.5 スーパーソニックのメンテナンス.....	17
8. 故障かなと思ったら	18 ～ 19

1. 安全上のご注意

本製品は取り扱いを誤ると重大な事故につながる事があります。
お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。

表示の説明

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、 **注意** に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークのない注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性がございます。必ず「安全上のご注意」を守ってください。

■ 本体・付属品共通

警告

 万一異常が発生したときはすぐに使用を中止する

発煙・発火・感電の原因になります。
すぐに本体のスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはサポートセンターに点検・修理を依頼してください。
例：煙が出たり、変なにおいがする

 子供だけで行わせたり、幼児の手の届く場所で使わない

事故、感電、けがの原因になります。
自分で自己表示のできない人、または自分で操作できない人は付添い無しで使わないでください。

 濡れた手で使用しない

感電、けがの原因になります。

 電源コードを傷つけたり無理に引っ張ったりねじらない。

感電、火災の原因になります。

 メンテナンス外の分解・修理・改造を行わない

感電、ショートによる発熱、変形、発火、故障の原因となります。

 引火性のあるもの、火の気のあるものを可燃物の近くで使用しない

爆発、火災、感電、けがの原因になります。

 子供やペットが触れる場所に置かない

事故、感電、けがの原因になります。

 高いところや不安定なところで使用しない

落下による、事故、けがの原因になります。

 電源コードやプラグが傷ついたり、挿し込みが緩いとき使用しない。

感電、ショート、発火の原因になります。

注意

 直射日光のあたる場所や暖房器具などの近くで保管しない

加熱による変形、発火、事故の原因となります。

 お手入れの際は電源を切る

事故、感電、けがの原因になります。

 火気に近づけない

本体や電源コード類の変形によるショート・発火の原因となります。

 乗ったり重いものを載せたりしない

破損、けがの原因となります。
特に小さなお子様にはご注意ください。

1. 安全上のご注意 つづき

■ロボット掃除機本体

⚠警告

⚠ 食用油や機械油を吸わせない

発煙・発火・けがの原因になります。

⚠ 専用オートステーション以外を使用しない

発熱、発火、感電や故障の原因となります。
本体内蔵バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 濡れるところでの使用、保管を行わない

感電、けがの原因になります。

⚠ 針金や金属片などを本体や充電端子に差し込んだりしない

発熱、発火、感電の原因となります。

⚠注意

⚠ 長期間使用しないときは、本体のスイッチを OFF にする

絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

⚠ バッテリーを火中に投下したり、加熱したりしない

バッテリーの液漏れ、発熱、破損の原因となります。

⚠ 充電は指定された方法で行う

バッテリーの液漏れ、発熱、破損の原因となります。

⚠ バッテリーの分解・修理・改造を行わない

バッテリーの液漏れ、発熱、破損の原因となります。

■オートステーションを含めたスーパーソニック

⚠警告

⚠ 排気口をふさがない

本体の変形・発火の原因になります。

⚠ コードやアダプター類のプラグを破損しない

無理に押し込んだり挟んだりすると破損の原因となります。

⚠ 同梱のロボット掃除機以外を充電しない

液漏れ、発熱、破損の原因となります。

⚠ 家庭用のコンセント（交流 100V）で使用する

発熱、発火、感電の原因となります。

⚠注意

⚠ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードを無理に引っ張ると電源コードが裂けたり、傷がつき、感電、火災の原因となります。

⚠ アダプターの差し込みがしっかり行われているか確認をおこなう

事故、破損、けがの原因になります。

2. ご使用の際のお願い

⚠注意

お客様の不注意もしくは正しく使用せずに本体及びクリーニング対象物、床や家財に損傷・破損が生じた場合やケガを負った場合、当社では一切の責任を負いかねます。

■ 未長くご使用いただくために

- 大きな段差や落下する可能性があるところには、あらかじめ仕切りを敷いてください。
- 長期間使用しない場合は、本体の電源を切り、オートステーションの電源を抜いてください。
- 定期的に本体等のメンテナンスを行ってください。

■ ご使用時の確認

ご使用できない場所	・ 毛足が 2cm 以上の敷物の敷いてある床。 ・ 水などの液体で湿った床、液体が溜まった床。 ・ 屋外及び、商業・工業施設 ・ 高温 (40℃以上) 及び低温 (0℃以下) の環境。
ご使用前に準備が必要なものや場所	・ 水や洗剤などの液体の処理。 ・ 大きな石や破片など、製品内のモーターに障害を与える可能性がある物の処理。 ・ すず、灰、たばこの吸い殻など、火災の原因となるものの処理。 ・ 床につくほど長いカーテンは持ち上げる。 ・ 絡まる可能性のある電源コードはまとめる。 ・ カーペットやマット端の長い房は内側に織り込む。 ・ 家具の下に障害物を置かない。 ・ 破損の可能性がある陶器類などを置かない。

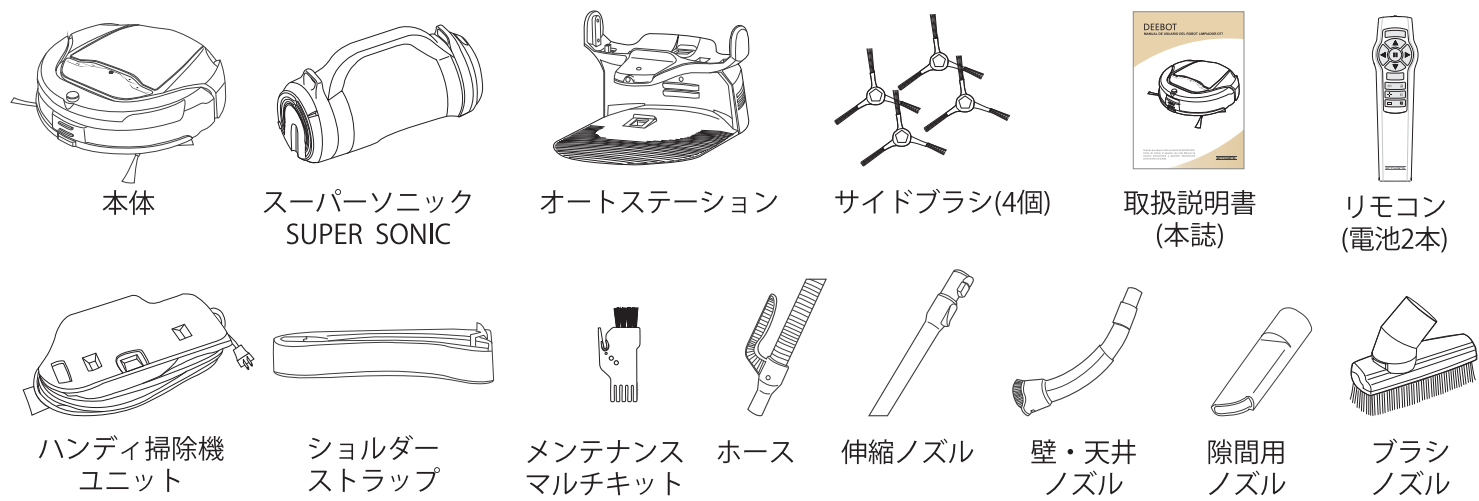
■ バッテリー取扱時の確認

バッテリー充電について	・ 初回の使用から 3 回は本体充電を最低 12 時間おこなう。 ・ 充電を行う前に、本体の電源スイッチを ON にする。 ・ 本体がオートステーションに接続されている状態で、充電のインジケーターが点滅しているかを確認する。 ・ バッテリーの充電が空の場合や、長期間使用されない場合、バッテリーの許容量が落ちる可能性があります。 ・ バッテリーを長期間使用されなかった場合、本体をオートステーションで 3 分ごとに取付け・取外しを 3 回繰り返した後、3 ～ 4 時間通常充電を行ってください。
バッテリー破損の原因	・ 落下などによる強い衝撃 ・ オートステーションに電源が入っていない状態で、充電端子と接続 ・ 充電を行わずに長期間の放置 ・ 直射日光が当たる場所や高温の場所での放置

※電源コードが破損した場合、使用者自分でコードの交換は危険が伴うため、サポートセンターにご連絡ください。

3. セット内容及び製品仕様・各部名称

3.1 セット内容

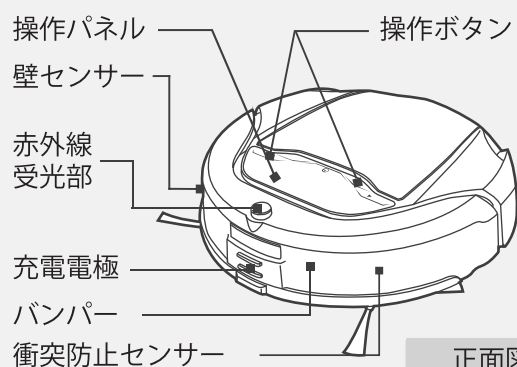


3.2 製品仕様

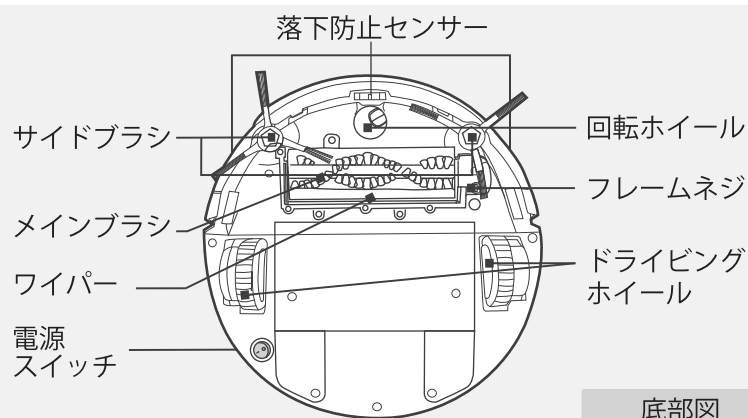
ロボット掃除機本体	
電圧	12V DC
消費電力	30W
速度	0.2m/ 秒
ダストボックス容量	0.7L
充電時間	4 ～ 5 時間
動作時間	120 分
動作音	60dB
サイズ	336×336×96mm
重量	3.1kg
バッテリーパック	
規格	Class II, IPX0
電圧	12V DC
容量	3000mAh
セル単位電圧	12V DC
セル数	10
オートステーション	
電圧	100V AC 50/60Hz
出力電圧	14.5V DC
出力電力	0.75A
平均電圧	20W
ダストボックス容量	1.0L
スーパーソニック（ユニット取り付け時）	
電圧	100V AC 50/60Hz
最大コンセント負荷	400W
リモコン	
乾電池	単 4 乾電池 2 本

3.3 各部名称

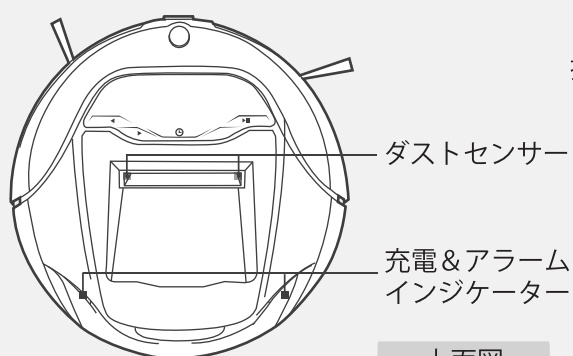
ロボット掃除機本体



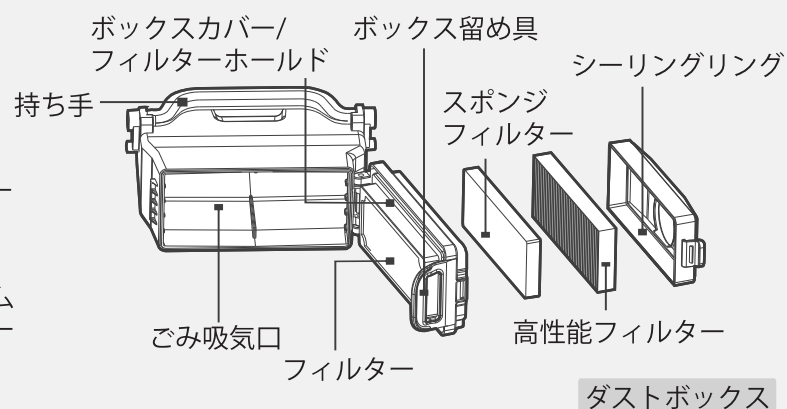
正面図



底部図

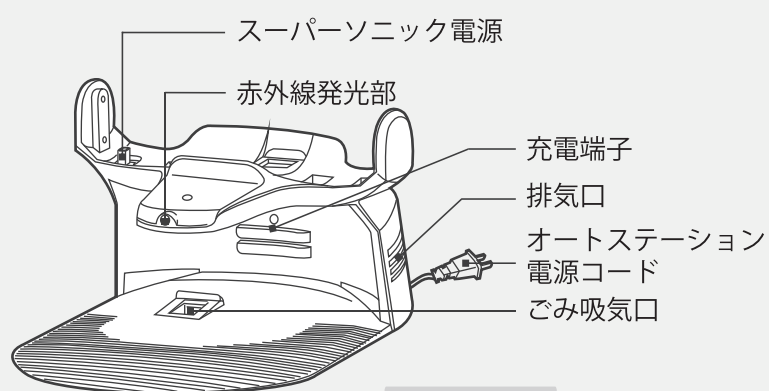


上面図

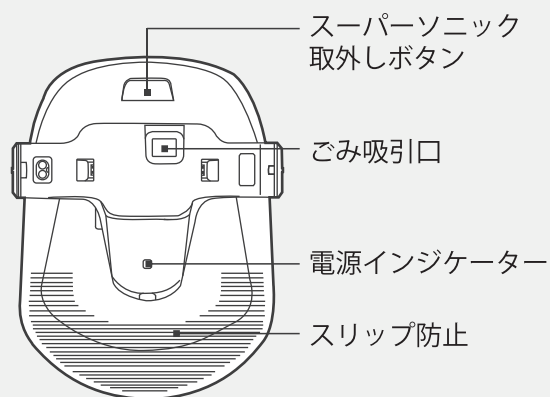


ダストボックス

オートステーション

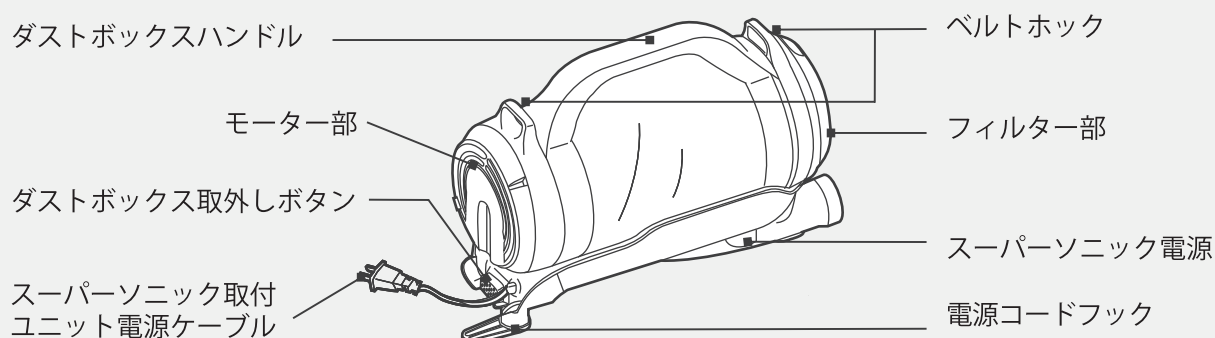


正面図



上面図

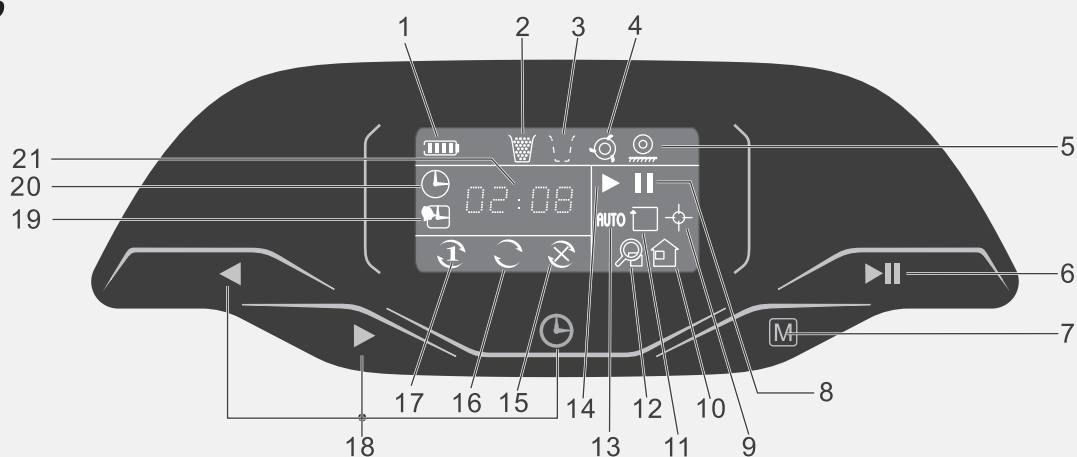
スーパーソニック SUPER SONIC



3.3 各部名称 つづき

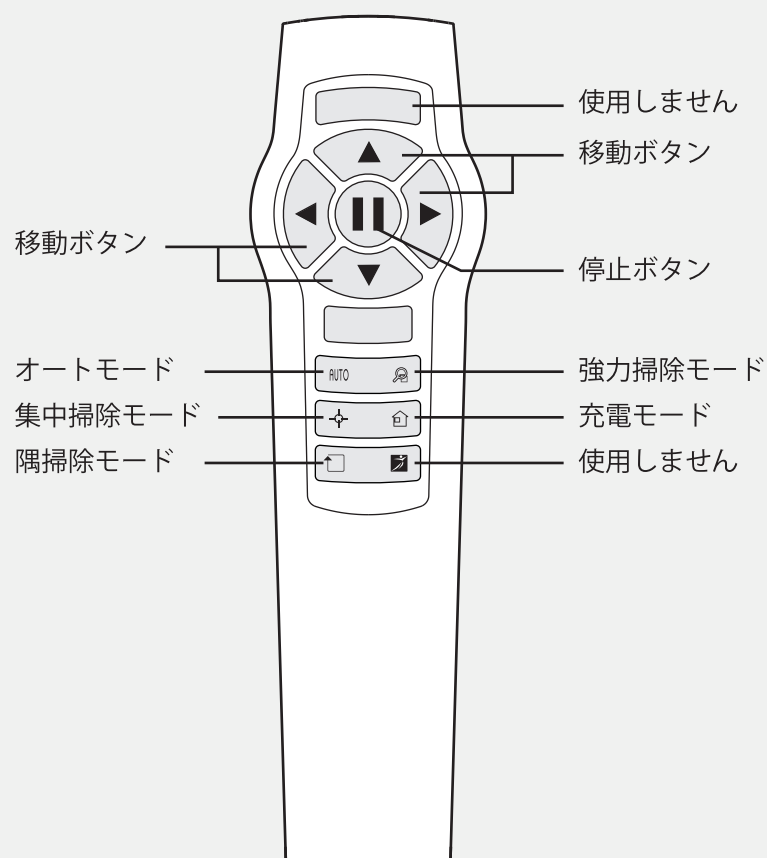
液晶と操作部

Model D79



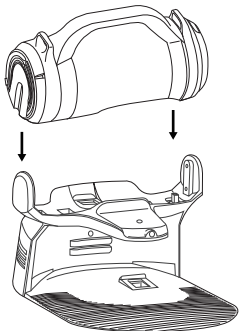
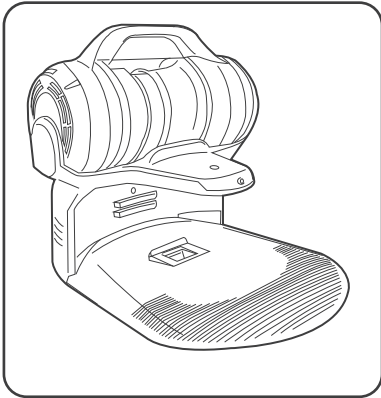
- | | | |
|-------------------|-------------|-------------------|
| 1. バッテリー表示 | 8. 一時停止状態 | 15. タイムスケジュール停止 |
| 2. ダストボックス要排出お知らせ | 9. 集中掃除モード | 16. タイムスケジュール(毎日) |
| 3. ダストボックス未収納お知らせ | 10. 充電モード | 17. タイムスケジュール(1回) |
| 4. 異物詰まりお知らせ | 11. 隅掃除モード | 18. 時間設定ボタン |
| 5. メインホール停止お知らせ | 12. 強力掃除モード | 19. タイムスケジュール時間設定 |
| 6. スタート/一時停止 | 13. オートモード | 20. タイムスケジュール設定状況 |
| 7. モードセレクト | 14. 動作状況 | 21. 時間表示 |

リモコン



4. 使用前の準備

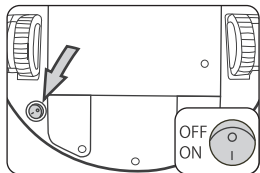
4.1 オートステーションの準備



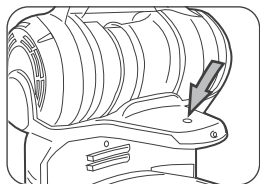
オートステーションの組み立て方法

オートステーションから 1.5 メートル以内には何も置かず、床が平らで赤外線発光部からの赤外線が反射しない場所へ設置してください。
設置したオートステーションの上部にスーパーソニックを「カチッ」と音が鳴るまではめ込んでください。
オートステーション背部の電源ケーブルをコンセントに挿し込み、電源インジケータが緑に点灯すると、設置完了になります。

4.2 ロボット掃除機の充電



ロボット掃除機底部にある本体電源スイッチをONに入れてください。



オートステーションの電源ケーブルをコンセントに接続し、インジケータが緑に点灯したことを確認してから、下記に記載のある手動充電でロボット掃除機本体の充電を行ってください。

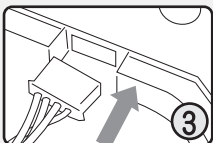
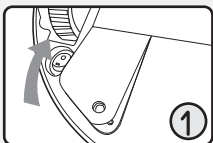
手動充電	自動充電	操作充電
ロボット掃除機本体をオートステーションの電極部分に取り付けます。この際、ロボット掃除機本体とオートステーションの電極部分が繋がっていることを確認してください。	作動中に充電が少なくなると本体が感知し、必要に応じてオートステーションに戻る自動充電モードに切り替わります。 ※初めの充電方法には使用できません。	リモコンもしくは本体のボタンを押して、本体を自動充電モードに切り替えることができます。

⚠ Note

- 初めての使用から 3 回までは、本体の充電を最低 12 時間以上行ってください。
- 充電を行う前に本体の電源が ON になっていることを確かめてください。
- ロボット掃除機本体の充電が完了すると、ロボット掃除機本体への電力供給が自動で省エネになります。
- 本体を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。

バッテリー取外し方

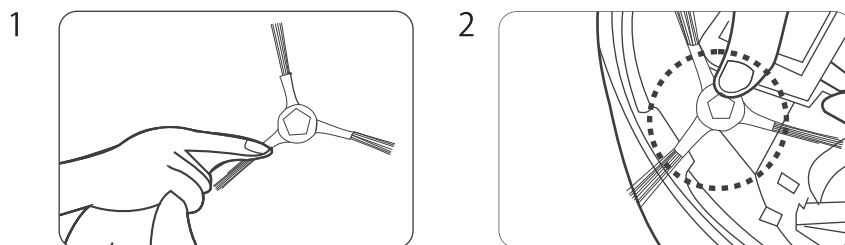
ドライバーでロボット掃除機本体底部のバッテリーカバーのネジをはずして蓋をあけてください。
バッテリーを本体から外し、接続されているコネクタを外してください。
付け直す際は、コネクタをロボット掃除機に接続し、バッテリーを入れてから蓋を閉めてください。



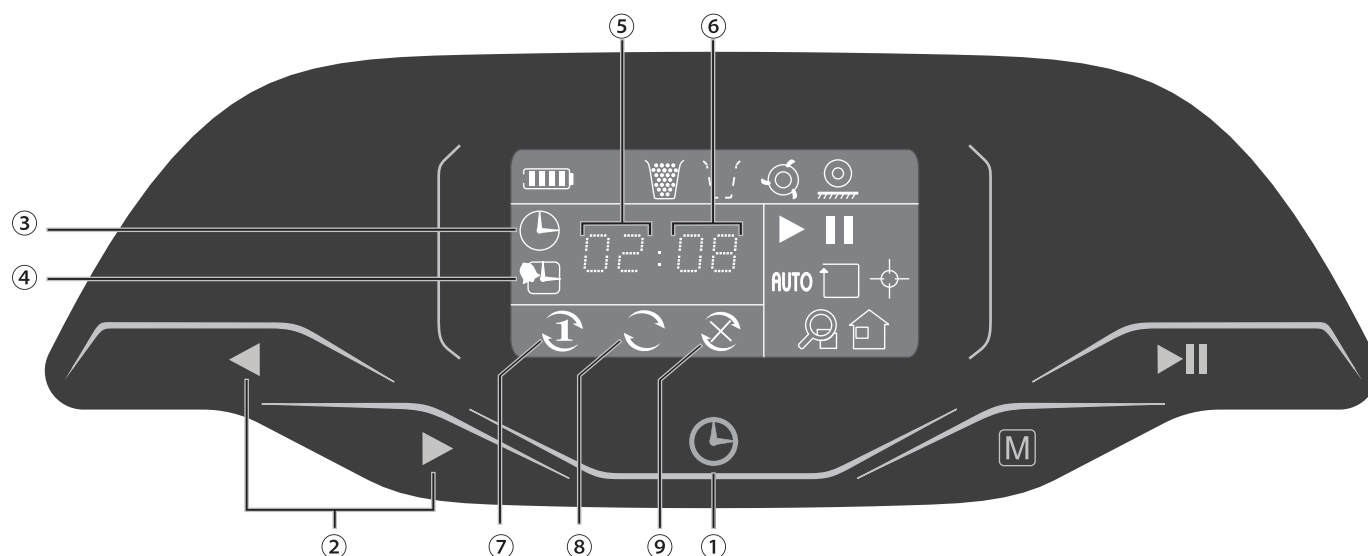
4.3 ロボット掃除機本体パーツの取り付け

ロボット掃除機本体にサイドブラシを取り付けます。

1. 同梱されているサイドブラシ 4 個のうち、各色 1 ずつ使用します。残りは予備になります。
2. ロボット掃除機本体を裏返し、前側左右の穴にそれぞれの色に合うブラシを差し込みます。
「カチッ」と音が鳴るまで差し込めば取付の完了になります。



4.4 ロボット掃除機本体の時間合わせとタイマー設定



タイマー設定

電源が ON の状態で液晶画面の時間表示が点滅するまで①を長押ししてください。

④が点灯し、⑤が点滅している状態で、②を使い時間の設定を行います。

時間の設定が終わりましたら、①を押し、⑥が点滅している状態で②を使い分の設定を行います。

以上でタイマー設定が完了し、①を押し時間設定に移ります。

現在時間設定

タイマー設定を完了し、①を押した状態で、③が点灯し⑤が点滅する状態になります。

④が点灯し、⑤が点滅している状態で、②を使い時間の設定を行います。

時間の設定が終わりましたら、①を押し、⑥が点滅している状態で②を使い分の設定を行います。

以上で現在時間設定が完了し①を押し設定終了になります。

タイマー機能頻度設定

①を押し、⑦⑧⑨のいずれかを選択し、タイマーの頻度設定を行います。

⑦設定した時間に 1 回だけ自動掃除を行います。

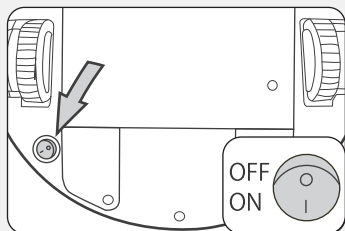
⑧設定した時間に毎日自動掃除を行います。

⑨自動掃除を行いません。

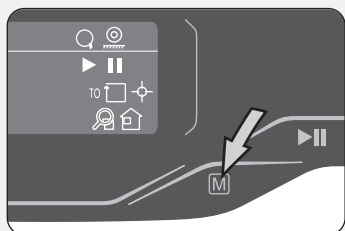
5. ロボット掃除機の使い方

5.1 ロボット掃除機の使い方

電源 ON/ スタート

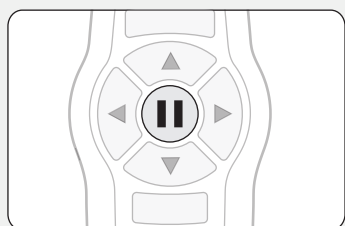


ロボット掃除機底部にある本体電源スイッチをONに入れてください。

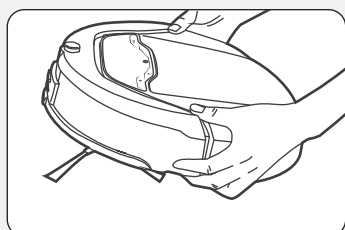


本体のコントロールパネルまたはリモコンのモードキーを押してお掃除モードを選択してください。
選択後、▶|| キーを押して掃除を開始します。

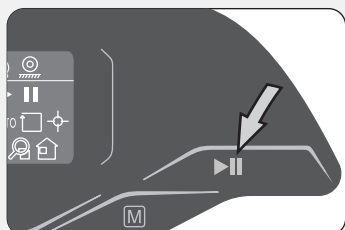
停止・一時停止



本体のコントロールパネルのいずれかのキーを押すか、リモコンの停止ボタンで停止モードに切り替わります。
※停止モードに切り替えると掃除が始めから開始されます。

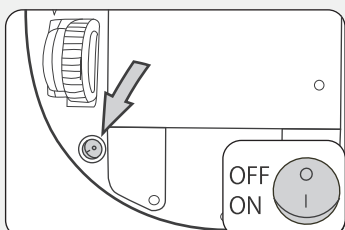


本体を持ち上げると一時停止モードに切り替わります。



再動作するためには、コントロールパネルの ▶|| キーを押してください。

電源 OFF



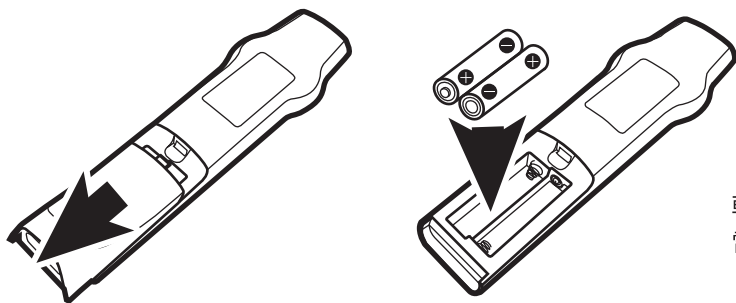
本体を一時停止モードに切り替えた後、底部にある電源スイッチをOFFに入れてください。

⚠ Note: 本体動作中に電源をOFFに入れないでください。

5.2 リモコン操作での使い方

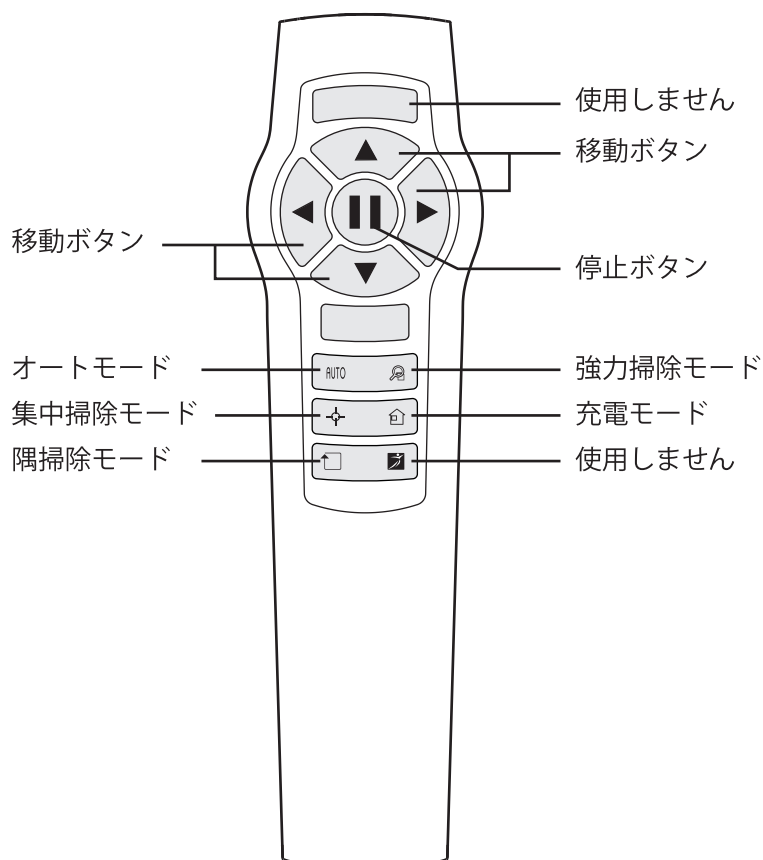
付属のリモコンを使用して、本体の操作が可能です。
リモコンの到達距離は本体から 5m 以内です。

●乾電池を入れる



リモコンの電池カバーをスライドさせて外します。
乾電池の＋を確認してリモコンへ入れます。
電池カバーを外したときと逆の手順で取付けます。

●リモコン各部名称



⚠注意

本体の動作に支障をきたしたり、
思わぬ落下の原因となりますので、
段差付近で無理な走行をしないで
ください。

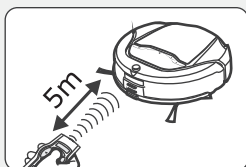
⚠注意

思わぬ事故や故障の原因となりま
すので、リモコン操作の際は本体
のエラー表示に注意してご使用く
ださい。

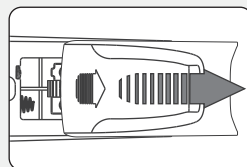
⚠注意

オートステーションでの充電中、
オートステーションの付近ではリ
モコンの動作がご使用いただけま
せん。

⚠ Note



リモコンを使用している時は、
ロボット掃除機本体から5m以
内の範囲で、本体の赤外線受
光部に向けて操作してくださ
い。



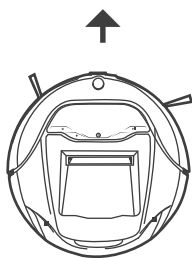
長期間で使いいただかない場
合は、リモコンから乾電池を
抜いてください。

5.2 リモコン操作での使い方 つづき

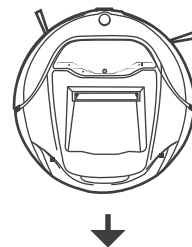
●リモコンで操作する



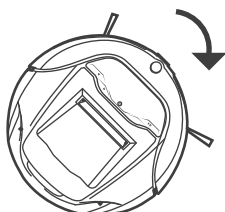
停止ボタンを押すと、ロボット掃除機が停止モードになります。
矢印ボタンを押すと、ボタンににんじた方向に移動・旋回します。
モードボタンを押すと、押したモードに合わせて始めからお掃除を開始します。



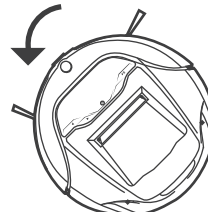
ボタンを押しているあいだ直進します。



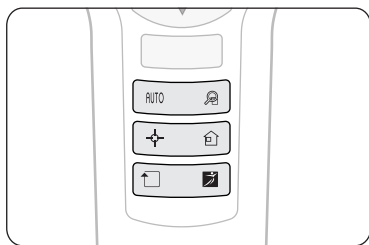
ボタンを押しているあいだ後退します。



ボタンを押しているあいだ右に旋回します。



ボタンを押しているあいだ左に旋回します。

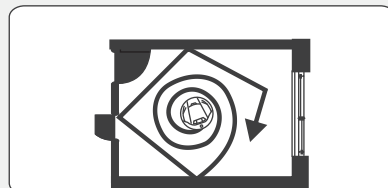
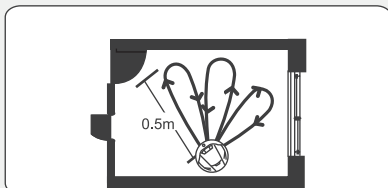
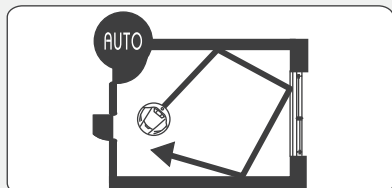


使用するモードをリモコンから選び、リモコンのモードボタンを押します。
ボタンを押すとモードに合わせてロボット掃除機が動作を開始します。
(各種モードは P12 参照)

5.3 各種モードについて

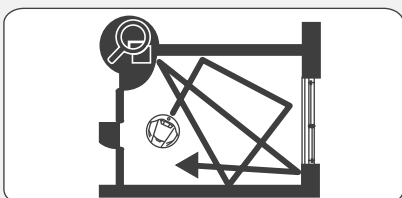
Deebot D79 には複数の掃除モードを搭載しており、効果的に床掃除を行うことができます。各種モードの動作時間は 120 分になります。途中で終了する場合は、リモコンか本体のコントロールパネルから充電モードを選択してください。

AUTO オートモード：掃除範囲が広く、標準的なモードです。



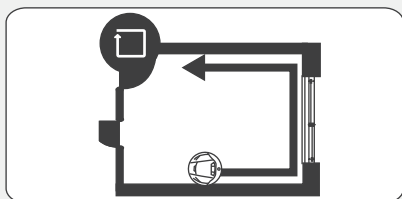
- オートモードでは本体が直進し、障害物を検出するとルートを変更して、部屋をくまなく掃除します。掃除のルート内でごみが多く検出された際は、扇型のように集中してごみを掃き取ります。上記3種類の掃除方法を状況に応じ自動で切り替えてお掃除します。

強力掃除モード：非常に汚れた場所や、埃のかぶった床の掃除に適したモードです。



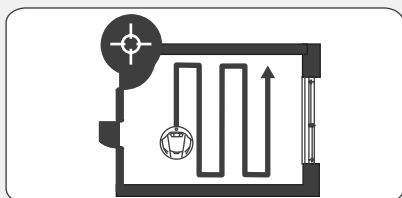
強力掃除モードは、オートモードと同じルートになりますが、オートモードよりもさらに細かくお掃除をします。強力掃除モード使用中は、ほこり感知センサーの感度が上がりますので、より細かいほこりや汚れを掃き取ります。

隅掃除モード：部屋の壁際や隅の掃除に適したモードです。



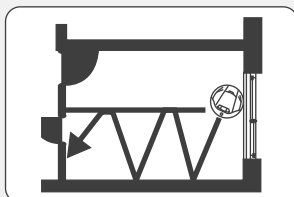
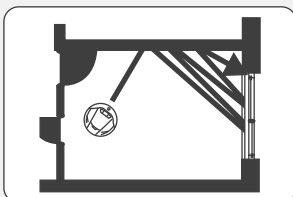
隅掃除モードでは、Deebotが部屋の壁を検知し、壁沿いに掃除を行います。障害物を検知した場合、障害物を避け壁際の掃除を行います。

集中掃除モード：一定範囲を集中してお掃除するモードです。



集中掃除モードでは、本体が左右にジグザグに移動し、一定範囲を掃除します。掃除が終わると、掃除を始めた場所へ戻ります。

Note



狭い範囲の掃除モードについて

オートモードや、強力掃除モードを使用して、廊下などの狭い範囲を掃除する場合、本体がジグザグに掃除し、狭い箇所の掃除が終わったら、元の位置から掃除を再開します。

充電モードについて

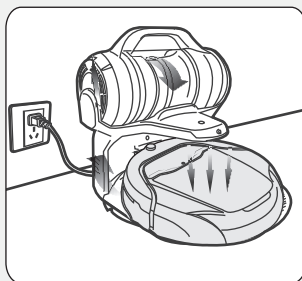
いずれのお掃除モードも、2時間お掃除を続けます。途中で掃除を終了させる際は、本体かリモコンで充電モードを選択するとオートステーションへ戻ります。

5.4 警告アラーム機能

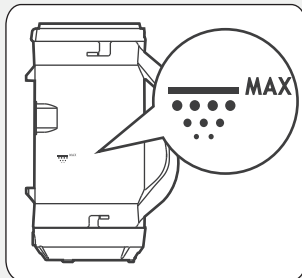
本体に何かしらの問題が発生した際に、警告音と充電インジケータのランプでお知らせし、詳細を液晶に表示します。

アイコン	問題点	解決方法
	充電が少なくなっています。	オートステーションで充電してください。
	ダストボックスのごみが掃除されていません。	ダストボックスを掃除してください。
	ダストボックスをセットされていません。	ダストボックスを空にし、本体にしっかりとセットされているか確認してください。
	ダストボックスに不具合があります。	
	メインブラシ・サイドブラシ・ホイールが挟まっているか、異物によって絡まっています。	本書16ページにあるメンテナンスを参照してください。
	ホイールが浮いています。	本体を平らな場所に置いてください。

5.5 自動ごみ回収



- ロボット掃除機本体の充電残量が少なくなると充電アイコンが点灯し、オートステーションに戻り自動で充電を開始します。
充電と同時にオートステーションの自動ごみ回収機能で、ロボット掃除機本体のごみがオートステーションに回収されます。



- ロボット掃除機から回収したごみは、オートステーション上部に取り付けられたスーパーソニックへ集められます。
およそ10秒でごみの回収が完了します。
ごみ回収中にスーパーソニックをオートステーションから外すと、ごみがこぼれたり破損の原因になりますので、動作中は取外しを行わないでください。

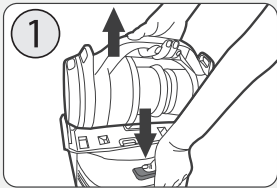
Note

自動ごみ回収機能を使用すると、オートステーションのスーパーソニックにごみを回収しますが、湿ったごみや大きいごみ等が混在する場合、すべてのごみを回収できない場合があります。その際はロボット掃除機のダストボックスからごみを捨てて頂く必要があります。
スーパーソニックの性能を十分に発揮するため、MAXラインを超える前にごみを捨ててください。

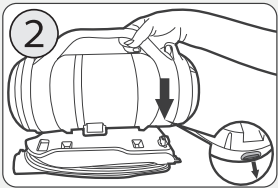
6. スーパーソニックの使い方

6.1 ハンディ掃除機としての使い方

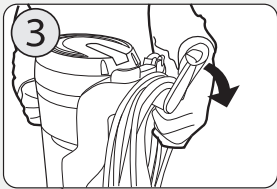
スーパーソニックはオートステーションに取り付けてごみを回収するだけでなく、ユニットに取り付けてハンディ掃除機としてもお使いいただけます。



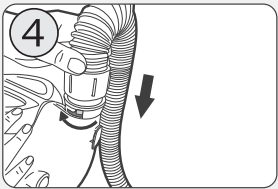
オートステーションの裏にある取外しボタンを押して、スーパーソニックをまっすぐ上に引き上げて取り外します。



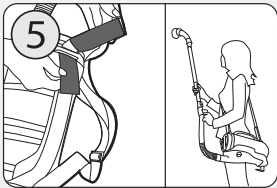
スーパーソニックをハンディ掃除機ユニット(P5参照)に取り付けてください。結合部がしっかりと接続されているか確認してください。



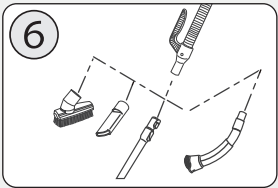
電源コード巻き取りのフックをひねって、まとめられている電源コードを外します。



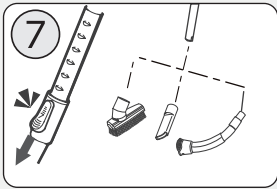
ハンディ掃除機ユニットにノズルを取り付けてください。ノズルがしっかりと接続されたら、ひねってロックをかけてください。



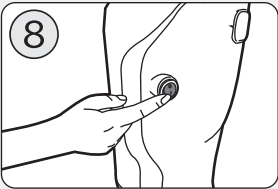
ショルダーストラップを取り付けて長さを調節してください。ストラップをつけることで持ち運びが楽になります。



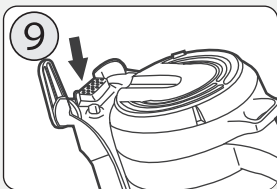
使用状況に合わせてアタッチメントをホースに取り付けてご使用ください。アタッチメントはしっかりと接続してください。



アタッチメントとの間に伸縮ノズルを取り付けられます。調節ボタンを押して長さが調節できます。



ハンディ掃除機ユニットの横にあるON/OFFスイッチを押して、ハンディ掃除機の電源を操作します。



掃除が終了したら、ダストボックス取外しボタンを押してハンディ掃除機ユニットを外します。

⚠️注意

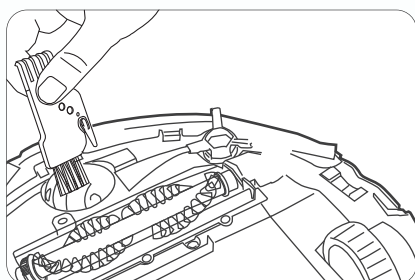
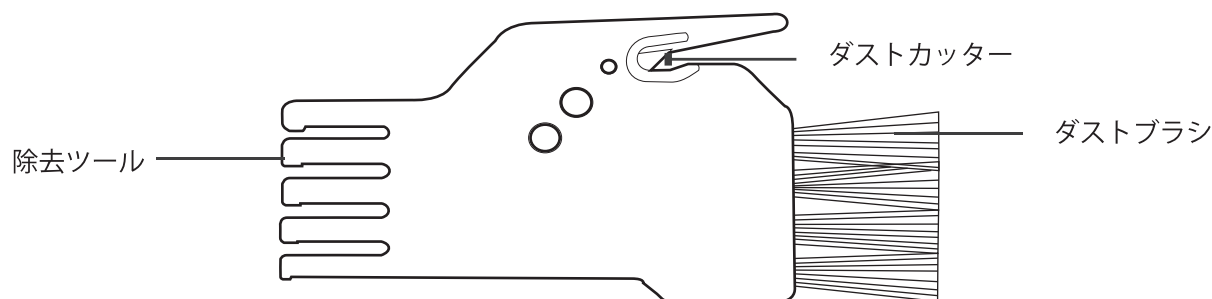
ハンディ掃除機ユニットを取り外す際は、スーパーソニック電源部分が固くなっておりますので、まっすぐ引き抜く形で取り外してください。

6.2 各ユニットの名称と用途

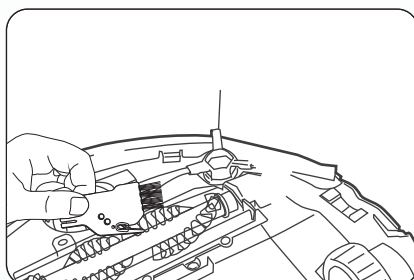
名称		用途
	伸縮ノズル	ユニットとアタッチメントの間に取り付け、伸縮できます。
	壁・天井ブラシ	キャビネット、天井、壁、ドアなど届きにくい場所に適しています。
	ノズルブラシ	ソファ、クッション、カーテンなどの柔らかいものに適しています。
	隙間ノズル	タンスの裏、物陰、ドアレールなどの狭い隙間に適しています。

7. メンテナンス

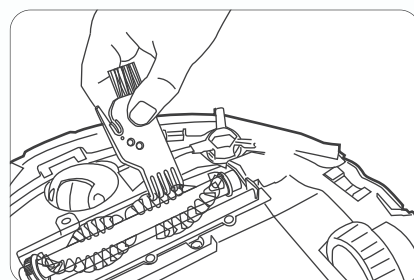
7.1 多機能メンテナンスツールの名称と特徴



ダストブラシ：落下防止センサー、メインホイール、バンパーの隙間などのほこりを取り除きます。



ダストカッター：メインブラシにからまった髪の毛や糸くずなどをカッターで切り取ります。

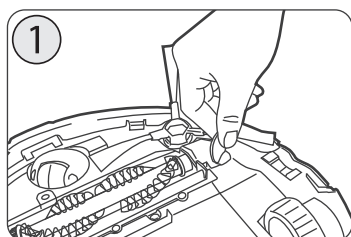


除去ツール：ダストカッターで切り取った糸や、ごみなどをかき出すために使います。

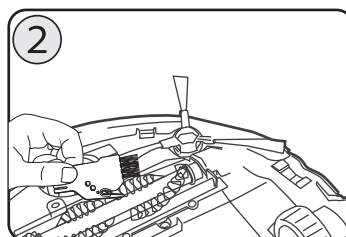
7.2 メインブラシ、サイドブラシ、メインホイールのメンテナンス

ご使用 4 ～ 5 回に 1 回程度メンテナンスを行うことを推奨しております。

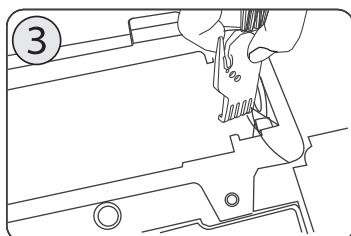
メインブラシ



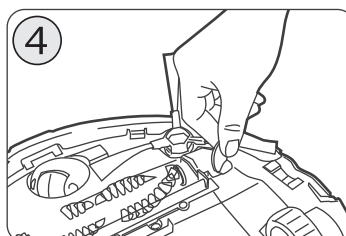
① フレームネジをはずし、メインブラシフレームを取り出します。



② メインブラシを取り出し、多機能メンテナンスツールで付着したごみを取り除いてください。

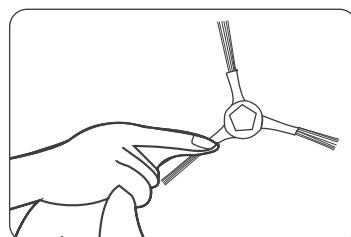


③ メインブラシを外した周りにごみを取り除いてください。

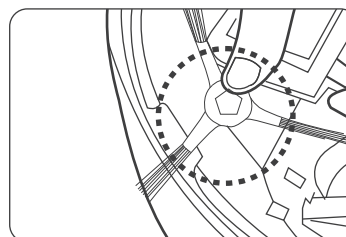


④ メインブラシとメインブラシフレームを取り付け、フレームネジを取り付けます。

サイドブラシ



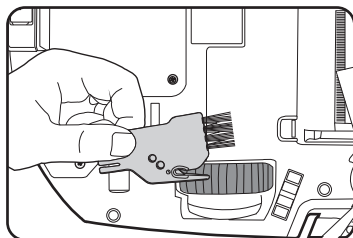
ロボット掃除機本体からサイドブラシを引き抜き乾いた布でふいてください。



ブラシと同じ色の穴に「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで下さい。

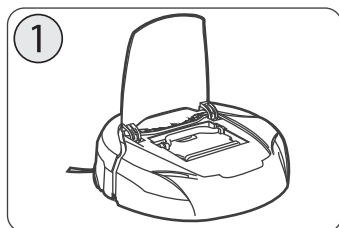
7.2 メインブラシ、サイドブラシ、メインホイールのメンテナンス つづき

メインホイール

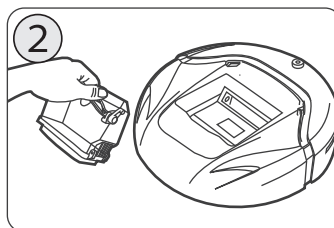


多機能メンテナンスツールを使い、メインホイールに絡みついた髪の毛やほこりなどのごみを取り除いてください。

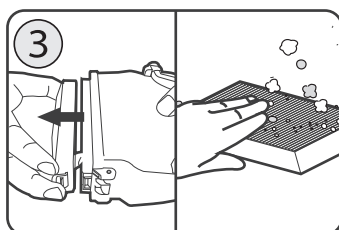
7.3 ダストボックスとフィルターのメンテナンス



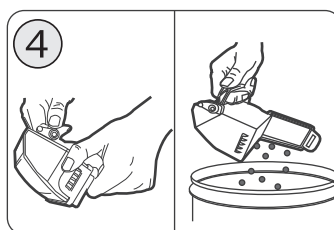
ロボット掃除機本体の電源を切り、ダストボックスの蓋を開けてください。



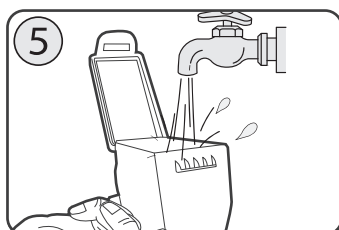
ダストボックスの取っ手をつかみ、ごみがこぼれないようにダストボックスを持ち上げて下さい。



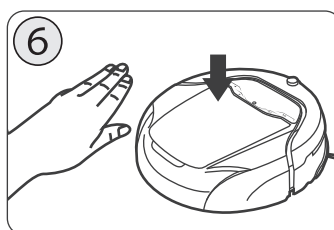
フィルターホルダーを開き、内蔵されているフィルターを取り出して、きれいになるように軽くたたいてください。



ダストボックスのふたを開け中のごみを処分します。

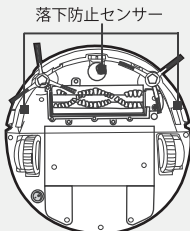
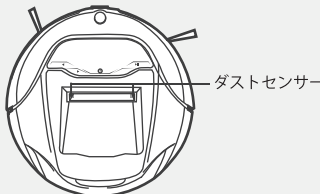
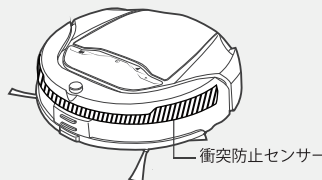


ダストボックス内のごみやほこりが取りきれない場合は、水などですすいでください。再度取り付けの際は完全に乾いてから取り付けてください。



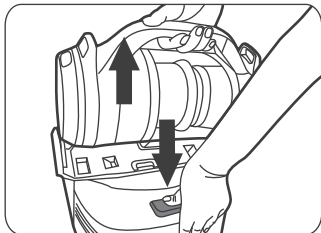
フィルターをダストボックスに戻し、フィルターカバーが、「カチッ」となるまで閉めます。ロボット掃除機本体にダストボックスを戻しふたを閉めます。

7.4 本体センサーの掃除

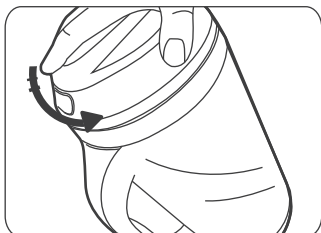
	落下防止センサー	ダストセンサー	衝突防止センサー
センサー位置	 落下防止センサーは本体の底部に搭載されています。	 ダストセンサーはダストボックスの前面に搭載されています。	 衝突防止センサーはバンパーの前面に搭載されています。
機能	8cm以上の高さからの落下を防止します。	回収したごみの量を検知し、適切なモードへ切り替えます。	壁や家具を検知し、衝突を防止します。
掃除方法	1.電源を切ります。 2.本体を裏返し、平らで綺麗な場所に置きます。 3.多機能メンテナンスツールで落下防止センサー3つを掃除します。	1.電源を切ってごみ箱を空にします。 2.多機能メンテナンスツールでダストセンサー2つを掃除します。	1.電源を切ります。 2.綺麗な布で衝突防止センサーが搭載されたバンパーを拭きます。

7.5 スーパーソニックのメンテナンス

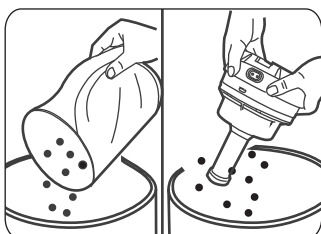
スーパーソニック本体のメンテナンス



オートステーション裏の取外しボタンを押し、スーパーソニックの取っ手をつかんで取りはずします。
重いモーター部を下にし、ごみがこぼれないようにします。

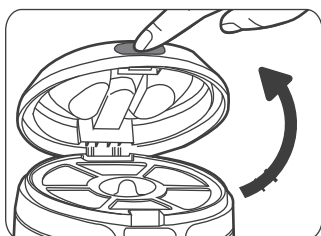


スーパーソニックの上部にあるフィルター部分の↓マークが**6**マークにくるまで時計回しにフィルター部分を回し、取り外します。

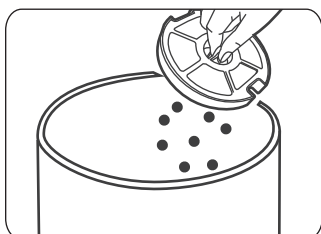


スーパーソニックの中にあるごみを捨ててください。
必要に応じて、反対側のモーター部分も同じように取外しごみを捨ててください。
モーター部分は水洗いできないため綺麗な布でふいてください。
フィルター部分とモーター部分を取り外したスーパーソニックは水洗いができます。

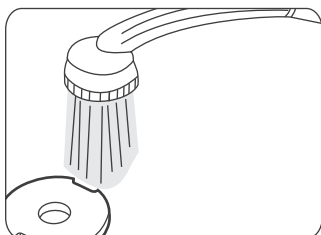
スーパーソニックフィルターのメンテナンス



フィルター部分のカバーにある取外しボタンを押してカバーを開いてください。
カバーの中にあるフィルターを取り外してください。



フィルターを軽くたたき、付着したごみを取り除いてください。



必要に応じてフィルターからスポンジを取り除き、スポンジを水洗いしてください。
損傷しないようにブラシなどは使用しないでください。

Note

フィルターは時間の経過で変色する可能性がありますが、フィルターの性能に影響はありません。
スーパーソニックは1週間に1回程度でメンテナンスを行っていただくことを推奨しております。
スーパーソニックをハンディ掃除機として使用する際は、使用後のメンテナンスを推奨しております。

8. 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	解決方法
本体が充電されません。	本体底部スイッチが ON になっていない。	本体底部スイッチを ON にしてください。
	オートステーションの電源コードがコンセントに挿されていない。	オートステーションの電源コードをコンセントに挿してください。
	本体がしっかりとオートステーションに接続されていない。	オートステーションにしっかりと接続されているかを確認してください。
	バッテリーが完全に放電してしまっている。	P.7 に記載の長期間使用しなかった際の充電方法を参照してください。
動作直後に正常な動きを行わない。	本体底部の落下防止センサーがごみで覆われている。	本体底部の落下防止センサーを拭いてください。
	メインホイールに異物が詰まって動かなくなっている。	メインホイールの異物を取り除いてください。
	ごみを正確に感知できない。	サポートセンターにご連絡ください。
サイドブラシが回転せず、設定したクリーニングモードで動作しない。	バッテリーの電圧が低下し、自動充電モードに切り替わってしまった。	本体を完全に充電してからクリーニングを行ってください。
本体が動作中に停止してしまう。	本体が床にある物にからまってしまった。(電源コード、カーテン、カーペットの飾りなど)	本体がからまった場合、外れるように動作しますが、解消されない場合は異物を取り除いてください。
本体が短時間しか動作しない	床の種類や部屋のつくりにより動作時間が変化します。固い床よりもカーペットの方がバッテリーを要します。	通常の状態になります。
	バッテリーが完全に放電してしまっている。	P.7 に記載の長期間使用しなかった際の充電方法を参照してください。
本体の動作がゆっくり、または旋回から動作が始まる	大きなゴミを検出した場合、自動的に動作スピードを落とし、旋回しながら掃除を行います。	通常の状態になります。
	ダストセンサーが汚れています。	ダストセンサーを拭いてください。
本体が段差を認識しない	落下防止センサーが汚れている。	落下防止センサーを拭いてください。
	床の光沢が強くセンサーが感知しない。	段差の前に障害物を設置してください。
	落下センサーが反応しない。	サポートセンターにご連絡ください。
本体作動中にサイドブラシが作動しない。	サイドブラシに髪の毛や異物がからまっている。	サイドブラシにからまった異物を取り除いて下さい。
	サイドブラシが正しくつけられていない。	サイドブラシを外し、それぞれの色が正しくつけられているかを確認してください。
	上記で解決しない場合。	サポートセンターにご連絡ください。
本体作動中にメインブラシが作動しない。	電源を切り、手でメインブラシを回して下さい。回らない場合、正しく設置されていない可能性があります。	メインブラシを取出し、もう一度正しくメインブラシを取り付け直してください。
	メインブラシに髪の毛や異物がからまっている。	メインブラシにからまった異物を取り除いてください。
	メインブラシが毛足の長いカーペットにからまっている。	2cm 以上の毛足の長いカーペットにはお使いいただけません。
	上記で解決しない場合。	サポートセンターにご連絡ください。

症状	考えられる原因	解決方法
本体が設定した時間に自動で動作しない	本体が正しい時間に設定されていない。	本体の時間を正しく設定してください。
	ロボット掃除機の電源が OFF になっている。	ロボット掃除機の電源を ON にしてください。
	本体のバッテリーが低下している。	ロボット掃除機を充電してください。
	掃除機のタイマー設定が 1 回のみになっているか、解除されている。	掃除機タイマーの回数設定を変更してください。
本体が大きな音を立て、吸引力が弱くなり、短時間しか動作しない。	本体の吸気口がふさがれている。	ロボット掃除機のごみを捨て、下記の箇所を掃除してください。 1. メインブラシ裏の吸気口 2. メインブラシの留め具部分 3. メインホイール 4. ダストセンサー
	上記で解決しない場合	サポートセンターにご連絡ください。
ダストボックス内のごみがあふれ出す。	ダストボックス内にゴミがたまっている。	ダストボックスのごみを捨ててください。
	メインブラシに髪の毛や異物がからみついている。	メインブラシについて異物を取り除いてください。
ダストボックスを掃除してもダストボックスの警告表示が消えない。	ダストボックスが正しく設置されていない。	ダストボックスを取り出し、設置し直してください。
リモコンが正しく動作しない。	リモコンの動作範囲を超えて使用している。	リモコンの動作範囲（5m 以内）で使用してください。
	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を入れ替えてください。
	ロボット掃除機の電源が OFF になっているか、バッテリーの残量が低下している。	ロボット掃除機の電源を入れ、オートステーションでバッテリーを充電してください。
	ロボット掃除機の赤外線受光部が汚れている。	ロボット掃除機の赤外線受光部を拭いてください。
	赤外線を阻害する機器が近くにある。	赤外線を阻害する機器の近くでの使用を避けてください。

Live Smart. Enjoy Life.